

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立米子西高等学校

重点項目	地域連携	提出日	令和5年3月20日
------	------	-----	-----------

1 学校目標	
多様な価値観を尊重し、主体的に生きる力を育み、持続可能な地域を創造する人財の育成を図る	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>○地域を知り、地域に参画・寄与しようとする力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土への愛着と誇りを持ち、地域を知ろうとする力およびコミュニケーション力の育成</li> <li>・チャレンジする力、地域に貢献しようとする意欲の育成</li> </ul> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次生の「みらいチャレンジ活動」において、探究活動の調査のために、地域の事業所訪問を実施したグループが全体の75%以上</li> <li>・『ふるさと教育』における連携に関する協定」に基づき、米子市との連携事業を年間5回以上実施</li> <li>・学校評価アンケートにおいて、外部の人材等を活用した教育活動が役に立っていると回答する数値が全体の60%以上</li> </ul>	<p>○米子市との連携協定により、米子市役所に探究学習について指導助言等の協力をいただいた</p> <p>その結果、地域への事業所訪問数は目標値を超え、郷土への関心を高めることにつながった</p> <p>○地域活性化を目指したテーマ設定も多くみられ、地域貢献の意識高揚にもつながった</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動調査のために、84%のグループが地域の事業所訪問を実施した</li> <li>・米子市との連携事業を2年次生で4回、1年次生で1回実施した</li> <li>・学校評価アンケートにおいて、本校の外部人材の活用について「役に立っている」「だいたい役に立っている」という肯定的な回答した生徒は、全ての学年で70%以上であった</li> </ul>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>○「ふるさとキャリア教育充実事業（キャリア塾）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次生対象のキャリア教育講演会</li> </ul> <p>【独自事業】</p> <p>○高大接続改革パシュート事業「卒業生講話事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次生対象の卒業生講話</li> </ul> <p>○“地参地生（ちさんちしょう）”アプローチ事業「ふるさとキャリア教育サポート事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次生全員および3年次生希望者対象の「みらいチャレンジ活動」における生徒の事業所訪問・インターンシップ・看護体験</li> <li>・2年次生対象の「みらいチャレンジ活動」における大学教員による研究概要説明会</li> <li>・「みらいチャレンジ活動」校内発表会</li> </ul>	

#### 4 総合所見（成果・評価）

1年次生においては、キャリア教育の一環で、大学教授を講師として迎えたキャリア教育講演会や本校卒業生10名招いた卒業生講話を開催した。2年次生では、71グループが延べ63か所へ事業所訪問を実施した。また、大学研究室訪問も行い、専門分野の研究概要も学ぶことが出来た。さらに米子市との連携協定を通して、2年次生に4回、1年次生に1回、指導助言などのサポートを受けて探究活動を行った。このように積極的に外部の人材を活用した結果、学校評価アンケートにおいて、多くの生徒が本校の外部人材の活用について役に立っているという回答が得られた。

1・2年次の体系的なキャリア教育および探究活動を進めるうえで、多くの方々指導助言等をいただき成立できている。2年次生の探究活動のテーマも地域に関するテーマが約58%で地域について意識が向くようになってきている。以上のことから、地域連携を図りながら、しっかりとした教育を展開できていると評価する。

※枚数任意